

補助金等外部評価 評価区分について

●第2回及び第3回行政改革推進委員会において、補助金等を評価していただく際の評価区分の説明となります。

●評価は以下の6つの区分から選択してください。

拡充	一部でも拡充に伴う改善をしてほしいもの(予算の増額や対象・規模の拡大を伴うもの、または制度上新たな要素を加えるもの)
現行どおり	現行の補助金等の内容は是認できるものであり、このまま補助を継続してほしいもの(予算の増額や対象・規模の拡大を伴わない運用上の見直しを含む)
手法等の見直し	手法や内容を見直してほしいもの(委託や直営等、補助金等以外の手法に切り替えるもの、または、予算規模の増減を伴う事業内容の抜本的な見直し、再編や統合等、補助金等のあり方を見直すもの)
縮小	一部でも縮小に伴う改善をしてほしいもの(予算の減額や対象・規模の縮減を伴うもの、または補助金等の内容から一部の要素を除くもの)
廃止	行政の役割が終了している等、補助金等を廃止してほしいもの
完了	要綱等に定める終期の到来を持って完了としてほしいもの

●以下は、評価区分を判断する際の参考にご覧ください。

まず、①補助金等の現状について分析し、②現状を踏まえたうえで、今後どのように取り組むべきか評価してください。

①補助金等の現状について分析	②現状を踏まえた評価(今後どのように取り組むべきか)																
補助金等の方向性や取組内容、今後の取組方針について検討するため現状を分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価区分</th></tr> <tr> <th>項目</th><th>内容・(記入例)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拡充</td><td> (記入例) ①補助対象経費や対象者の範囲を拡充 ②事業費の拡充 ③補助金等の要素の追加 </td></tr> <tr> <td>現行どおり</td><td> (記入例) ①現行の補助金等を継続していくべき ②運用上の見直しを行い補助金等を継続すべき ③情報発信等による補助金等のPR活動の推進 </td></tr> <tr> <td>手法等の見直し</td><td> (記入例) 手法(内容)を見直すべき ①民間への委託(一部委託も含む) ②補助金等を伴わない市民との協働により実施 ③他の公共的な実施主体(広域連合など)での実施を検討 ④<u>拡充、縮小、廃止のいずれにも該当しない</u> <u>その他の見直し</u> </td></tr> <tr> <td>縮小</td><td> (記入例) ①補助対象経費や対象者の範囲を縮小 ②事業費の縮減 ③補助金等の要素の部分的廃止 </td></tr> <tr> <td>廃止</td><td> (記入例) ①市民ニーズ(需要の縮小)や時代変化により、補助金等の必要性がなくなったため、廃止すべき ②民間で同様の取組を実施しているため、廃止すべき ③個人や団体等が自助努力・自己負担することが適当である </td></tr> <tr> <td>完了</td><td> (記入例) ①市民ニーズが充足したと考えられることから、要綱上の終期の到来を持って完了とすべき ②民間で同様の取組が浸透してきているため、要綱上の終期の到来を持って完了とすべき </td></tr> </tbody> </table>	評価区分		項目	内容・(記入例)	拡充	(記入例) ①補助対象経費や対象者の範囲を拡充 ②事業費の拡充 ③補助金等の要素の追加	現行どおり	(記入例) ①現行の補助金等を継続していくべき ②運用上の見直しを行い補助金等を継続すべき ③情報発信等による補助金等のPR活動の推進	手法等の見直し	(記入例) 手法(内容)を見直すべき ①民間への委託(一部委託も含む) ②補助金等を伴わない市民との協働により実施 ③他の公共的な実施主体(広域連合など)での実施を検討 ④ <u>拡充、縮小、廃止のいずれにも該当しない</u> <u>その他の見直し</u>	縮小	(記入例) ①補助対象経費や対象者の範囲を縮小 ②事業費の縮減 ③補助金等の要素の部分的廃止	廃止	(記入例) ①市民ニーズ(需要の縮小)や時代変化により、補助金等の必要性がなくなったため、廃止すべき ②民間で同様の取組を実施しているため、廃止すべき ③個人や団体等が自助努力・自己負担することが適当である	完了	(記入例) ①市民ニーズが充足したと考えられることから、要綱上の終期の到来を持って完了とすべき ②民間で同様の取組が浸透してきているため、要綱上の終期の到来を持って完了とすべき
評価区分																	
項目	内容・(記入例)																
拡充	(記入例) ①補助対象経費や対象者の範囲を拡充 ②事業費の拡充 ③補助金等の要素の追加																
現行どおり	(記入例) ①現行の補助金等を継続していくべき ②運用上の見直しを行い補助金等を継続すべき ③情報発信等による補助金等のPR活動の推進																
手法等の見直し	(記入例) 手法(内容)を見直すべき ①民間への委託(一部委託も含む) ②補助金等を伴わない市民との協働により実施 ③他の公共的な実施主体(広域連合など)での実施を検討 ④ <u>拡充、縮小、廃止のいずれにも該当しない</u> <u>その他の見直し</u>																
縮小	(記入例) ①補助対象経費や対象者の範囲を縮小 ②事業費の縮減 ③補助金等の要素の部分的廃止																
廃止	(記入例) ①市民ニーズ(需要の縮小)や時代変化により、補助金等の必要性がなくなったため、廃止すべき ②民間で同様の取組を実施しているため、廃止すべき ③個人や団体等が自助努力・自己負担することが適当である																
完了	(記入例) ①市民ニーズが充足したと考えられることから、要綱上の終期の到来を持って完了とすべき ②民間で同様の取組が浸透してきているため、要綱上の終期の到来を持って完了とすべき																
申請件数が少なく、対象者が限定的であることが原因と考えられることから、対象者の範囲を広げ、多くの方に申請してもらう必要がある。	→																
現行の取り組みは是認できるが、目的達成に向け、更に拡充する必要がある。 ……など	→																
現行の方向性や取組内容は是認できるため、所管課で定めている今後の取組方針に沿って、このまま補助金等を継続してほしい。 ……など	→																
現行の補助金等の目的や成果は是認できるが、さらに効率的な手法による実施が考えられる。	→																
行政で実施する必要があるが、市ではなく、別の機関で実施することが可能である。 ……など	→																
現状の規模での補助金等の必要性は少ないものと考えられるため、対象範囲や件数を縮小する必要がある。 ……など	→																
市民ニーズがなくなっている。	→																
民間で実施しているため、行政で実施する必要性がなくなっている。 ……など	→																
市民ニーズが充足されてきている。	→																
市民ニーズを捉え切れていない。	→																
民間の実施主体が増加し、行政で実施する必要性がなくなっている。 ……など	→																